



スポーツフェスタ2009

3月15日、町民体育館でスポーツクラブきくよう主催のスポーツフェスタ2009が開催されました。

この催しは、いろいろなスポーツを楽しむことを目的に行われ、町内外から参加した親子連れなどが、いろいろな競技を楽しみました。

また、エアロビクスで活躍中の大村詠一さん、智美さん、沙織さん兄妹が登場し、レベルの高いエアロビクスの演技を披露し、会場を盛り上げました。



▲みんなで身体を動かしました

空高く届けみんなの夢



▲バルーンに夢をこめて

3月21日、白鈴園で卒園する園児たちが夢を記した短冊をバルーンへつけて空へ放ちました。

これは、県内の新聞社が企画したもので、抽選で選ばれた同園が、卒園の記念として行ったものです。

子どもたちは、たくさんのバルーンが空へ旅立っていくのを見て、歓声をあげながら手を振っていました。

平成20年度 熊本県社会福祉功労者 知事表彰

県点字図書館で活動されている鈴木順子さん（上津久礼）がボランティア（録音図書製作）の部で表彰されました。

鈴木さんは、当館主催の朗読講習会を昭和62年度受講以来、20年以上の永年にわたり、常に正確な録音図書製作に専念され、視覚障害者の文化活動の増進のために尽力されてきました。

また、平成12年4月から、視覚障害者の外出サポート活動にも熱心に取り組み、当事者の社会参加の一助として現在も活躍されています。



▲表彰された鈴木さん（中央）

菊陽町総合防災訓練

3月22日、菊陽杉並木公園ふれあい広場で、菊陽町総合防災訓練が開催されました。

この訓練は、地震発生による大規模災害を想定した総合防災訓練で、菊池南消防署や菊陽町消防団の被災者救出・救助訓練や菊陽町社会福祉協議会の災害ボランティアセンター、日赤奉仕団の地域婦人会、防災ボランティアすぎなみの炊き出し訓練などが本番さながらに行われ、緊張感あふれる訓練となりました。

また、一般向けにも消火器を使った消火訓練、はしご車搭乗、火災時の煙の体験なども同時に行われ、町民にとって災害の際の心構えを再確認するいい機会となりました。



▲土砂に埋もれた車両救助訓練



▲消火器を使った消火訓練

伝統芸能を子どもたちに



▲何ができるかな？

3月16日、みどり園で伝統芸能に親しんでもらおうと菊陽さくら会が「南京玉すだれ」の実演を行いました。

「あ、さて、あ、さて」とはじまる軽快な口上に合わせて、いろいろな形になる玉すだれを前に子どもたちは、「魚だ、橋だ」と大喜びでした。

また、南京玉すだれのほかにも皿回しの体験などが行われ、はじめて体験する伝統芸能に子どもたちは大満足の様子でした。



町内小・中学校で入学式

4月9日、町内の各小・中学校で入学式が行われ、834人が入学しました。

菊陽西小学校では、100名の新入生を迎えました。新入生は、上級生や保護者らが拍手をして見守る中、在校生が持つ花のアーチの中を少し緊張した面持ちで入場しました。そして、一人ひとり名前が呼ばれると、「ハイ！」と元気よく返事し、起立していました。また、お祝いの言葉が贈られると、新入生は声を合わせて「ありがとうございます」と初々しくお礼の言葉を述べていました。

続いて、児童代表が新入生に、人気アニメ映画のストーリーを交えながら、学校生活の楽しさを紹介していました。

最後に3人の新入生が代表して壇上に上がり、教科書、黄色い帽子、防犯ブザーをそれぞれ贈呈され、退場の時には最初の緊張感が嘘のように晴れ晴れとした笑顔で明日からの学校生活に胸を躍らせているようでした。

また、菊陽中学校では、田代佳行校長が、「頑張りたい目標に向けて何事にも一生懸命努力しよう」と式辞を述べられ、在校生も「リードしていくので一緒に頑張りましょう」と言葉を贈り、すてきな歌で歓迎しました。新入生は、これからさまざまな可能性を秘めた中学校生活を過ごしていくこととなります。

小学校	入学者数
菊陽中部小学校	131
菊陽南小学校	9
菊陽北小学校	29
菊陽西小学校	100
武蔵ヶ丘小学校	134
武蔵ヶ丘北小学校	54
計	457
中学校	入学者数
菊陽中学校	148
武蔵ヶ丘中学校	229
計	377



▲初々しい表情の新一年生（菊陽西小）



▲新しい学校生活の始まりです（菊陽中）



▲教科書などが贈られました（菊陽西小）

ふれあいの森さくら祭

3月28日、ふれあいの森公園・研修センターで「ふれあいの森さくら祭」が開催されました。

この催しでは、菊陽北校区内の地域住民と同センターで行われている講座の受講生などが、いろいろなステージ発表を行ったほか、地域ボランティアの食バザーやセンター内の研修室で講座生による展示なども行われました。

この祭は、地元の住民と講座生との協力により企画・運営が行われており、その中の一つとして、祭のメインとなったステージの盛土部分に芝を張る作業が2月17日に行われました。また、地元から6本の桜の木が町に寄贈されたことから、同時に植樹の作業も行われました。地域が一体となって開催された、ふれあいの森さくら祭は、桜の花が満開の中、たくさんの家族連れなどが訪れ大盛況となりました。



▲芝を張り、ステージ作りをしています



▲各地区のステージ発表



▲桜とキャンドルの共演

はなあかり

3月28日、町民グラウンドにおいて、はなあかり実行委員会による「はなあかり」が開催されました。廃油をペットボトルや空き缶などに流し固めて作ったエコキャンドルのイベントがありました。

このイベントでは、手作り感が漂うキャンドルが、桜の木やグラウンドなどに飾りつけられて、薄暗くなった会場に力強くもほのかな明かりをともしていました。

そして、満開の桜の下では、琴やオカリナなど演奏も行われ、会場を訪れた人は、桜の花とのコラボレーションを楽しんでいました。



▲火を点されたキャンドル▶